

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (29年3月号)

平成29年3月1日

冷たい風にも春の気配が感じられるこのごろですね。3月の活動日のお知らせです。

3月19日(日) 午前9時～11時

南口電停横「みんなの庭」の手入れを行います。北口駐輪場周りも草引き清掃をいたしましょう。

午後2時～3時 今月も街頭活動を続けます。帯屋町筋中央公園前で葛岡さんのギターと歌声に乗って元気にチラシを配ります。

4月の月例活動日は9日(日)、5月は14日(日)の予定です。

2月のトピックス

○2月17日(金) 午前

高知市役所みどり課、都市計画課を訪問、新年度の植樹、花植えなどについて話し合いました。高知新聞が報じた高知城まわりの樹木の伐採(次ページに詳述)も話題になりました。

○2月19日(日)

午前:「みんなの庭」の手入れのほか、北口駐輪場まわりの草引きをやりました。根っこをとるので思うようには捗りませんでしたけれど着実に。(右の写真)

午後:葛岡さんのギター弾き語り立ち止まる方々が増えているのは嬉しい限りです。チラシ配りの伴奏にもなって調子が上がります。(下の写真)



踊り出した女の子



大人の女性にも人気です

前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先: 〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話: 090-8849-3651 E-mail: m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話: 090-7016-3743 E-mail: kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行: 四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 ナカタマサシ 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(8) 高知城まわりの森に脚光

—高知新聞が樹木伐採問題を報道しました



平成 29 年 2 月 14 日 (夕刊)



平成 29 年 2 月 16 日



切り開かれた森 (24 日撮影)

実際には 40 本ほど伐採された (撮影者)

新聞報道の内容

伐採方針を報道した上左の記事本文によると、「高知城南東部の樹木を中心に伐採する。同館（歴史博物館）3 階の「高知城展望ロビー」の設置、「志国高知幕末維新博」に合わせた整備で、事業費は約 1 千万円。2016 年度に入って展望ロビーからの眺望の視察などを重ねた結果、管理者の県教育委員会文化財課が『眺望の確保に伐採が必要』と判断したという。・・・」とし、併せて県民から異議が上っていることを伝えています。更にこの問題を追っかけて、翌 15 日の夕刊「出放題」欄には「城（き）を見て森を見ず！？—県民 眺望配慮の県殿」という風刺が載りました。

上右の記事（2 月 16 日）の見出しは、県民の反対で「クスノキ一転保存」となっていますが、本文は「高知城内の樹木の伐採・剪定作業を計画している県教育委員会は 15 日までに、伐採予定だった石段登り口脇にある樹高約 20 メートル、幹回り約 3 メートルのクスノキは伐採せず、最小限の枝の剪定に留める方針に転換した。伐採方針を伝えた新聞報道を受け、県民から反対意見が寄せられたためという。一連の作業は 3 月 4 日に開館する高知県立高知城歴史博物館の展望ロビーなどからの城の眺望を確保するため、伐採は天守南東部を中心に約 20 本を予定している。・・・当該のクスノキ以外は予定通り伐採する方針で、15 日からクレーンを使って作業が始まった。」と伝えています。親分のクスノキは助けてやるが他は全員打ち首といった処置のようです。

残る数々の疑問

1. 「城（き）を見て森を見ない」（出放題）とはよく言ったものです。お城を守ってきた貴重な木々、それが育む小鳥や虫など、かけがえのない「命」に思いを寄せるのが教育委員会の使命ではないでしょうか？

2. 新築の建物からの眺望に捉われて森を邪魔者に仕立てていますね。県庁舎を含めてお城の周りの大きなビルや広告塔こそ問題ではないでしょうか？ 年月を要しますが「お城が見えない城下町」という評判を変えることのほうが大切では？

3. 予算 1 千万円は大金です。どこから出たお金なのか？ 施工業者がどういう経緯で選ばれたのか？ 年度末の今頃になって（眺望は建物設計段階から解っていたはず）市民の知らないところで急に決まったのはなぜ？（新聞が報道しなければ明るみに出なかった？）

解らないことが多すぎます。